

令和 6 年度 高松市地域学校協働活動【活動報告】

モデル校	川東小学校
地域学校協働活動推進員 (コーディネーター)	1 名 (主な役職) コミュニティ協議会職員

主な活動内容

No	項目	内容
①	昼休みの児童の安全を見守る「見守り隊」の本格実施	学校運営協議会で提案されたものをコミュニティ協議会内で検討を重ねた結果、川東校区コミュニティ防犯推進協議会が中心となって、令和 6 年度から本格的に、小学校の昼休みにおける見守り活動を実施した。また、コーディネーターは、立ち上げ検討会に参画し、学校とボランティア間の連絡係などを行った  
②	川東文化祭 & 龍っ子フェスティバル	令和 4 年度から、地域の文化祭と学校の学習発表会を統合してスタートとした。校区文化祭と同日に、小学校総合学習参観を開催し、地域住民も学習発表を見ることができる場となっている。 コーディネーターは、発表に至るまでの年間を通じた支援（指導者の手配、連絡係など）を行った。 コミュニティ協議会は、取組の趣旨を、会合を通じて地域の方に丁寧に伝え、この取組が地域と学校にとって、win-win であることを理解してもらった。 文化祭と参観を児童、保護者、地域の方が行き来できるように、文化祭主催者のコミュニティ協議会と学校で、文化祭と参観

		の時間を調整した。 
③	クリーン活動	地域開催の運動会の前に、児童・地域・教職員・保護者で行う「クリーン活動」を初めて行った。学校運営協議会で相談したところ、コミュニティ協議会の協力を得て開催できた。 コミュニティ協議会が、草刈り機やチェーンソーなどを持っている方に個別に声をかけ、児童が活動する一時間前から作業を開始する計画を立て、児童の安全を守りつつ、例年以上の整備を行うことができた。また、教職員の大きな負担となっていたが、地域の協力を得ることで、負担軽減となった。 

④	学校での歌舞伎公演	従来は敬老会や文化祭などの校外公演だったが、全校生が歌舞伎の文化に触れられるよう、校内での公演を企画した。学校運営協議会で相談したところ、認定 NPO 法人農村歌舞伎祇園座保存会などの協力を得て実現した。 祇園座が当日の朝から来校し、役者のメイクや着付けを行った。また、コミュニティ協議会が前日から放送、照明機器を準備し、校外公演と同質の環境づくりを行った。   
⑤	米作り	地域の夏祭りの代替活動として、コミュニティ協議会から、代替活動ができないかと学校に相談があり、生涯学習部会の部長と学校が協議し、農業体験及び収穫祭を実施することに決定した。 児童に農業への理解を深めてもらうとともに、地域住民との交流機会を創出するため、コミュニティ協議会の協力を得て、令和6年度に初めて、5年生が田植え・稲刈り・脱穀・もみすり体験を行った。 生涯学習部会の部長が同部会の方や地域の方に声をかけ、たくさんの地域の方と活動を共にすることができた。

		
⑥	香川図書館とのコラボ	地域の夏祭りの代替活動として、6年生が、香川図書館が購入する本を選定したり、授業で制作した作品を展示したりなど、図書館の来場者を増やす工夫を行った。 同図書館長が、児童の発表や願いを丁寧に聞き取り、館内で実現できるように調整をしてくれた。 

成果・効果

- ・ 地域との交流を通じて、子どもたちのコミュニケーション能力や社会性が向上した。
- ・ 多様な体験活動により、子どもたちの学びの幅が広がり、地域への興味関心が深まった。
- ・ 子どもたちの地域に参画しようとする意欲が高まり、シビックプライドの醸成につながった。
- ・ 地域が学校活動に参加することで、地域全体の連帯感が強まり、地域全体で子どもたちを支える意識が高まった。
- ・ 昼休みの見守り活動により、教職員は休憩を取りやすくなり、また、子どもたちの安全が守られつつ、子どもたちとボランティアの間に挨拶が交わされ、顔と顔が見える関係を築けるようになった。